

## 平成30年度卓越大学院プログラム審査結果

機関名	早稲田大学		
プログラム名称	パワー・エネルギー・プロフェッショナル育成プログラム		
プログラム責任者	橋本 周司	プログラムコーディネーター	林 泰弘

### 〔採択理由〕

本プログラムは、国公私立 13 大学及び電気事業連合会をはじめとする多くのエネルギー・インフラ企業やパワーアカデミー、トップクラスの海外機関等との連携によって、共同研究力、産業創出力、国際連携力を備え、将来の重要課題であるエネルギー分野において新産業の核となる人材「パワー・エネルギー・プロフェッショナル (PEP)」を育成し経済発展に寄与するという、他に類を見ない卓越性の高い意欲的な提案である。また、大学の将来構想は明確であり、学長を中心とした運営体制も確立している。

「本プログラムの運用と整備に関わる目標」、「6つの課題解決能力に関わる目標」、「修了時の質に関わる目標」、「修了後の活動に関わる目標」もそれぞれ明確である。特に、非常に多くの機関と連携するに当たってはその身分や教育上の平等性等に配慮が必要な中で、早稲田大学において各大学の学生のプログラム履修体制を整え、共通する環境での学修を可能とし、教育の質保証に具体的に取り組む等、創意工夫が凝らされており、期待できる内容となっている。

また、教育スタッフだけでなく、本プログラムは中長期計画「Waseda Vision 150」の中核に位置付けられており、学長を中心とした早稲田大学のマネジメント体制や外部評価委員会、各種運営委員会等が詳細に考えられている。早稲田大学がハブとなって基準化・標準化を進めることによって連携する大学全体の大学院システムを改革する計画が立てられており、大学院改革としても新しい試みである。

オールジャパン体制とも言えるような多くの組織が関係する本プログラムを進めていくためには、大学間での教育理念のすりあわせなど緻密な協力体制の構築が必要と思われる。各大学の独自性を担保しながら全体として意思統一を図り、地域的に広範囲にわたる学生への対応等に配慮しつつ、新しい試みを着実に実行していくことが望まれる。